

# NGO連携タスクフォースの提言

## 経緯

○日本のNGOは欧米のNGOと比較し、脆弱な財政基盤や組織力が課題。

○かかる課題を克服し、国際競争力を有するNGOへの成長を目的とする「NGOとの戦略的連携5カ年計画」を策定（平成18年）。

○同計画を具体的に実施する上で、平成19年1月にNGO連携タスクフォース（TF）を国際協力局内に立ち上げた。

○同TFではNGO育成の観点から、（1）NGOの能力強化策の拡充、（2）広報連携の強化、（3）NGOが参加可能なODA事業拡充、（4）国際機関とNGOとの事業連携の促進を議論してきた結果、別添の提言に基づきNGOとの連携の取り組みを強化する。

(別添)

## 従来の取り組み

### (1) 能力強化策

- 海外実務研修(19年度開始)
- プロジェクト評価能力向上プロジェクト(19年度開始)
- アカウンタビリティ強化策(適切な会計処理の向上のためのセミナー等)(18年度開始)
- その他の能力強化事業

### (2) 広報連携の強化

- NGOと共同した広報資料「国際協力とNGO」の作成等
- NGO相談員制度の広報番組の放映(全国ケーブル185局)

## 今後の取り組み

### (1) 能力強化策

- 継続

### 企業のCSRとNGOとの連携強化

(研究会の開催)

- ✓ 海外NGOと日本のNGOの連携強化(セミナー等の開催)

### (2) 広報連携の強化

- ODAを含む国際協力の広報連携の促進
- ✓ JICA国内機関とNGO相談員の連携
- ✓ グローバルフェスタ等を活用した広報連携
- ✓ NGO相談員と連携したODA講座実施

## 従来の取り組み

- (3) NGOが参加可能なODA事業拡充  
➤ NGOからの提案型プロジェクト(日本  
NGO連携無償、JICA草の根技術協  
力等)の推進

## 今後の取り組み

- (3) NGOが参加可能なODA事業拡充  
➤ 継続

---

開発途上国からの要請を受けて実施する  
✓ コミュニティ開発支援無償などの一般無  
償への参入を積極的に求める  
✓ 技術協力プロジェクトへの参入を積極  
的に促進

- (4) 国際機関とNGOの事業連携  
➤ ODAを活用した国際機関とNGOの  
事業連携の推進(例: JPFの南部スー  
ダン事業)

- (4) 国際機関とNGOの事業連携  
➤ 継続

---

✓ 日本が拠出している国際機関の基金  
の日本のNGOによる活用促進  
(データベース構築、申請に関するセミ  
ナー等の開催)